

廃止の場合は“(変更)”
を二重線で消す。

道路廃止 ~~(変更)~~ 申請書

年 月 日

(申請先)

横浜市長

申請者 住所 横浜市■■区〇〇一丁目2-3

氏名 横浜 太郎

(法人の場合は、名称・代表者の氏名)

電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

道路を廃止 ~~(変更)~~ したいので、横浜市建築基準条例第56条の4第1項の規定により関係図書を添えて申請します。

1 代理者	住所	横浜市▲区×××二丁目34-5 電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇
	氏名	株式会社〇〇〇〇 横浜 次郎
2 建築基準法上の道路種別	建築基準法第42条第 1 項第 5 号に規定する道路	
	(第42条第1項第5号に規定する道路に該当する場合、指定の年月日及び番号) 昭和〇〇年 △△ 月 △△ 日 第 〇〇・□□・△△ 号	
3 廃止(変更)しようとする道路の地名、地番及び地目	横浜市 ■■区 〇〇町3丁目456番の7 地目: 公衆用道路	
4 廃止(変更)しようとする道路の幅員及び延長	幅員 4.5 m 延長 30.5 m	
5 避難通路の土地の地名、地番及び地目		
6 避難通路の幅員及び延長	幅員 _____ m 延長 _____ m	
7 廃止(変更)の理由	土地の有効利用のため 等	

地目まで記入。

避難通路の廃止の場合は、5、6を記入。

※受付欄	
------	--

- (注意)
- 5欄及び6欄には、廃止し、又は変更しようとする道路に設定された横浜市建築基準条例第56条の3第2項第2号に規定する通路の廃止又は変更後の幅員及び延長を記入してください。
 - 開発に係る廃止又は変更の場合は、その旨を7欄に記入してください。
 - ※印のある欄は、記入しないでください。

その他の例

- ・道の反対側が拡幅し、公道移管され1項1号道路となり、2項道路が不要となったため。
- ・位置指定道路(開発道路)が通り抜けできるようになり、転回広場が不要となったため。等